

原発のない  
やさしい未

命を大切に  
する教育と  
福祉の  
実現を！  
子ども  
たちに  
平和で  
安全な  
社会を！

北区 京都市会議員

玉本なるみ



子どもたちの  
未来のために  
行動する！

●福島の子どもたちと

子どもが体罰やいじめを苦に自殺したり、  
貧困を理由に希望する進路をあきらめるよ  
うなことがないように力を尽くします。  
病気や介護が必要となった時に、お金が

なくて十分な医療や介護が受けられないと  
いうこともあってはなりません。  
医療や福祉の後退を許さない立場で頑張  
ります。

## 玉本なるみ

Tamamoto Narumi

### Profile

- 1962年 ● 生まれ。
- 1981年 ● 大阪府立春日丘高校卒。京都大学医療短期大学部看護学科入学。
- 1984年 ● 京都府立保健婦専門学校に入学。
- 1985年 ● 京都民医連北病院勤務。
- 1987年 ● 待鳳診療所勤務。
- 1989年 ● 北病院地域医療部で、訪問看護活動に取り組む。
- 1993年 ● 葵会訪問看護ステーションの初代所長として勤務。
- 1994年 ● 京都民医連綾部協立病院で訪問看護の部署で勤務。
- 1997年 ● 北病院外来に勤務。京都市在宅介護支援センター施設長となる。
- 1999年 ● 京都市会議員に初当選。(4期)

### 趣味

和太鼓、エイサー



●ご意見・ご要望は下記までご連絡ください。

日本共産党京都市会議員団

2014年3月

京都市中京区河原町御池 京都市役所内  
TEL. 222-3728 FAX. 211-2130

E-mail. [info@cpgkyoto.jp](mailto:info@cpgkyoto.jp)  
京都市会議員団

## 地域要求

# 住民のみなさんとスクラム組んで、実現に全力

### 「バスを走らせてほしい」住民の悲願が実現へ

西賀茂北部の柘野学区は、人口急増地なのに市バス路線がなく、住民にとって路線延長は悲願となっていました。住民らは「考える会」を発足させ、署名や住民アンケートに取り組みとともに、延長約5キロのバスルートを提案し、交通局や北区役所、町内会などに協力要請してきました。

こうした長年の努力が実って、昨年9月に町内会連合会が「公共交通利用促進会議」を結成。交通局は実現に向けて検討するとし、



「考える会」のみなさんとともに宣伝(2012年10月)

北区役所も

「調整がつけば3月のダイヤ改正で実施したい」としてきました。私は、本会議や委員会で繰り返し路線延長を要求。

昨年9月市会の代表質問では、幅広く住民が参加できる仕組みをつくり、住民合意で早期に実現するよう求めました。



### 北部土木事務所にガタガタ道の改修要望に行きました。通学路の安全対策を!

上賀茂神社のロータリーから柘野別れまでの道と深泥池から3本西の通りがガタガタでたくさんの要望が。改修の要望に北部土木事務所へ、住民のみなさんと一緒に行って来ました。深泥池の方の道は、改修する予算がなく部



土木事務所に要望

分的にはなるが、

調査し改修を行うと説明がありました。

通学路での事故が続いており、安全確保に向けて引き続き頑張ります。



### 雲ヶ畑地域の住民の足を守れ

京都バスが雲ヶ畑地域を走る路線を撤退すると発表してから、雲ヶ畑地域のみなさんのくらしを守る運動が大きく発展しました。その中で、京都バスの撤退後、雲ヶ畑地域住民が主体となって「もくもく号」が走るようになりましたが、バス運行は1日2往復だけ。



浜田府議と雲ヶ畑の一人暮らしの女性から話を聞く(2011年8月)

「これでは利用しにくい」「入院のお見舞いに行く時、帰りのバスに間に合わず、タクシーを利用することも多い」との声は切実で、バス増便への京都市の支援が求められています。



### 賀茂川河川敷にトイレを

賀茂川の北山大橋南側の河川敷で毎朝ラジオ体操をしている方から「公衆トイレを作ってほしい」との要望があり、一緒にラジオ体操に参加し、お話をお聞きしてきました。

北大路橋から西賀茂橋までトイレがないので、切実な要求です。河川敷は京都府の管理なので、府に



賀茂川河川敷でのラジオ体操(2013年6月)

も働きかけをされていたとのことでした。その後、京都市会に請願が提出され、全会一致で採択されています。



### 御園橋の架け替え工事の計画へ

御園橋西詰めの交差点は、いつも交通渋滞になっていましたが、拡幅工事が完成しました。北進側の道路は左折線、右折線、直進線と3本になり、堀川通りと加茂街道との合流点では、信号も設置され、注意しながら合流しやすくなりました。歩道も広くなり、歩きやすくなっています。

次は、念願の御園橋の架け替え工事です。ご意見やご要望をお聞かせください。



拡幅工事が完成した御園橋西詰め(2013年3月)

# 被災地にも駆けつけて

3・11東日本大震災は、原発の大事故もおこし、日本の政治が大きく問われることになりました。私はいてもたってもおられず、1人現地に駆けつけ、この目に被災地の実態を焼き付けました。その後もボランティア活動に参加し、原発ストップの運動に力を入れています。

## 被災地を訪ねて①

2011年4月30日、夜行バスで京都駅を出発し、東京でいわき市行きバスに乗り換え、被災地福島県いわき市に行ってきました。学生時代の先輩で、日本共産党の県会議員をされていた長谷部敦さんと訪問活動をさせていただきました。

海岸沿い近くにお住まいの方の場合、危機一髪で津波から逃れた方や、家が土台しか残らなかった方、ギリギリ玄関前まで波が来て助かったという方など様々でした。

## 被災地を訪ねて②

宮城県坂元中学校の避難所では、畳一畳分のスペースで寝泊まりされていました。

ご主人を亡くされたという(写真①中央)ご婦人は「早く仮設住宅に入りたい」と要望されました。

仮設住宅に最近引っ越された方を訪問



写真①)避難所・坂元中学校体育館にて—ご自身も津波に流されて一晩中、屋根の上ですごしたとのこと

(写真②)。避難所と違って食事の配給がなく、困っておられました。



写真②)仮設住宅前で明るく話される方でしたが、妹さんは行方不明とのこと

## 被災地でボランティア

2011年7月16日、南相馬市の被災地支援で鹿島区の仮設住宅を訪問、集会所で健康相談にのり、支援物資をお届けしました。

私は、洛北診療所の看護師さんといっしょに血圧測定、お困りのことはないかとたずねました。測った方のほとんどが、血圧が高く驚きました。やはり、疲れや

ストレスによるものが多いと思います。早く、心を落ち着かせてあげたいと思います。



涙ながらに被災の状況を話す方も

## 広がる「脱原発」の運動に参加して

東日本大震災後、原発の危険性が明らかになり何かできることはないかと、多くの方が考えたと思います。私は、映画「チェルノブイリ・ハート」の上映実行委員会に参加しました。

第2弾として、総選挙投票日直前の2012年12月11日、脱原発ソングを歌うグループ「フライング・ダッチマン」のライブに参加しました。ライブ実行委員会と佛教大学9条の会の共催で、佛教大学も後援して、大学内のホールで開催。「脱

原発」への思いをまっすぐ歌っていただき感動しました。



ポーカーの方が「みんな投票に行ってくれ！」と叫んだのも新鮮でした。

## デモ行進は楽しく参加を

大飯原発の運転差し止めと損害賠償を求める「大飯原発差し止め訴訟」が京都地裁に提訴されました。1107人の原告団による結成総会に先立ち、関西電力京都支社前をデモ行進しました。

私はパーラック(沖繩の打楽器)をもって参加。鳴り物があるのにぎやかで楽しかったです。



楽器やプラカードで、楽しくアピールしました。

# 2013年9月市会で 代表質問に 立ちました



## 敬老乗車証への 応益負担導入の撤回を

「感謝しています。どうか長く続けてください」「病院に行くのに2回乗り換えなくてはいけませんので、大変助かってます」等、敬老乗車証についての声を紹介し、応益負担導入は敬老の精神から逸脱し、制度の趣旨を大きく歪めるものだと批判しました。

8年前の有料化で交付率は50%に激減しており、年金削減や光熱水費値上げの中、負担を増やせばさらに後退が懸念されると述べ、負担増でなく無料に戻すのが本来の姿だと質しました。

副市長は、社会参加促進対策や低所得者対策で、より多くの高齢者の新たな利用になるなどと強調しました。



## リハビリセンター 附属病院の存続を

リハビリテーションセンター附属病院の患者さんは、診療報酬上の日数制限導入等でリハビリ給付の制限・切り捨てをされた方々であり、廃止後の受け皿はどこが担うのか、医療機能をなくして、リハビリの質をどう担保するのかと追及。病院の存続を求めました。

副市長は、同様の病院が多く存在し、在宅福祉サービスも充実。廃止しても十分対応できると答弁しました。

## 学童つ歯対策事業は 継続・実施を

小学生の虫歯治療費を無料にする「学童つ歯対策事業」は「京プラン」に見直し項目としてあがり、包括外部監査から見直しを指摘されました。制度のさらな

る周知を求

めた上で、

廃止すれば

経済的理

由で歯科を

受診できな

い児童が生

まれる心配

があると指

摘。事業の継続を求めました。

教育長は、全国に例がなく、定着もして

っており慎重に検討すると答弁しました。



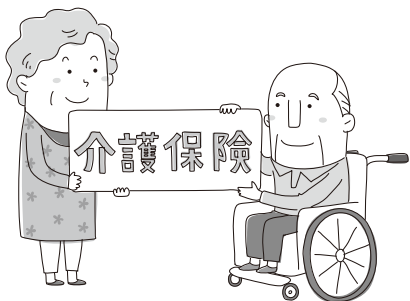
## 要支援者の 介護保険は ずしはやめよ

国が要支援者への給付を介護保険からはずし、市町村事業に丸投げしようとしている問題について質問。介護保険から外されると福祉の専門家の手を離れ、状態が悪化する可能性が高く、制度そのものを根底から揺るがすと厳しく批判しま

## 子ども・子育て 支援制度の撤回を

子ども・子育て新制度で保育水準が後退しないよう、現行基準を下回らないようにすべきと述べました。また、障害児の入所や保育時間の認定について質すとともに、保育園の耐震化に市が責任を持つよう求めました。その上で、新制度導入の撤回を国に求めるべきと主張しました。

市長は、制度撤回は求めず、障害など



した。副市長は、財源の確保や、サービスの提供等、必要に応じて他都市と連携して国に要望すると答弁しました。

## 西賀茂・柘野地域の バス運行について

支援の必要な子どもや、保護者の就労実態をふまえ確実に利用できるよう、利用調整の権限を発揮する。耐震化は「市民間保育園耐震化計画」に基づいて進めると答弁しました。

## 北区西賀茂・柘野地域の バス運行について

北区西賀茂・柘野地域のバス運行について、幅広い住民参加の仕組みで進めるよう求めました。また、交通不便地域をなくすため、行政区と都市計画局、交通局が協力しての具体化を求めました。

副市長は、市バス路線新設に向け、地域主体のモビリティ・マネジメントを支援すると答弁しました。交通政策監は、交通不便地域の足の確保は重要であり、地域、行政、交通事業者が一体となって課題の解決に取り組むと答弁しました。

# 議会報告の「アンテナ」記事に 多くの方から共感の声



## 体罰許せない!



今年一番のシヨックは何と言っても、大阪市立高校のバスケット部顧問の体罰が原因となった高校生の自殺です。同じ年頃の子どもを持つ親としても、たまりません。ニュースを聞くたびに悔しくて、涙がこみあげてきます。なんで、防げなかったのか……。

元野球選手の桑田真澄さんが体罰問題について発言をされています。桑田さん自身、子どもの頃、殴られない日はなかったと話されています。現在は、かつて自分も体罰を受けた経験をもたえて、体罰による指導への反対を訴えながら、全国の講演活動や子どもたちの指導に当たっておられます。

体罰は子どもの人権を傷つけます。勝つことばかりが優先されるのではなく、勝つために頑張る努力こそを認め、評価するスポーツであってほしいと思います。勝負の世界は厳しくとも……。

アンテナ  
2013年1月2号

## 「地藏盆」

8月26日、町内の地藏盆のお手伝いに行きました。写真は、上賀茂小学校PTA「のほんくらぶ」の保護者による絵本の読み聞かせです。子ども達はじつと絵本に目をやり、耳を澄ませて聞いていました。絵本って子どもの成長に本当に大事だと思っています。

私も子どもが保育園の頃、夜寝る時に読んでやりましたが、もつと読んでやればよかったなあ、と今になって思い出します。

年に1回の取り組みですが、地藏盆は地域の子どものため、町内会の皆さんが計画し、当日力を合わせて取り組みます。いつまでも、続くことを願っています。

アンテナ  
2012年9月1号



## 「社会に目を向ける子ども達に」

11月26日、みやこメッセでPTAフェスティバルがありました。写真は、西賀茂中学校の生徒とPTAの方々が取り組んでおられた東日本大震災の被災地支援活動のブースです。手作りのプリントしたTシャツを販売し、収益を被災地支援活動に使おうと頑張っていました。このように企画を取り組んで頑張ってくれてほんとにうれしかったです。もちろんTシャツを買いました。

被災地の事に目を向け、活動する行動力をこれからも大切にしていきたいと思いました。



アンテナ  
2011年12月号

## 「十年後、どうなっていたい?」

高三の長男の保護者会の講演会で、立命館大学の春日井敏之教授のお話を聴きました。子どもの目線に立って考えるお話は心に響くものがありました。

子どもとぶつかってもいい。でも言いすぎたなと思ったら、後で謝つたらいい。ただ、やっぱり子どもの存在を否定するような事は言っちゃいけない。大人になっても、人間は評価してほしいし、褒めてもらいたい。僕はもうすぐ60歳になるけど、家に帰ったら、奥さんに「僕、頑張っているやろ」と言ってる。「よしよし、よく頑張っているね」と頭をなでて褒めてもらおうと話され、びっくりしました。

印象に残ったのが、表題に

ある「十年後、どうなっていたい?」と話をするといいというアドバイス。子どもは親の自慢話ではなく、親の思春期の失敗談を聞きたい。「おかんやおとも、そうやったんやな」と思うと楽になると。

いろいろ聞いても、子どもはよく「べつに……」と言います。それは、「今はそつと」といって「ということ。「世界中が敵になっても、あなたの味方や」と言っているといいそうです。実践したお母さんの子どもの反応は、「世界中が敵になるような事にはなりたくないわ」。確かに……。



アンテナ  
2013年6月2号

# 市民とともに 市政を動かす

## 14人の日本共産党京都市会議員団

14人の日本共産党京都市会議員団は、市民のみなさんと力をあわせ、市民いじめの悪い政治とキッパリ対決して、市議会でもねばり強い論戦をおこなうとともに、つねに建設的な対案を示し、みなさんの切実な要求や願いを次々に実現させてきました。



### 安倍内閣の暴走にストップを

国民の「知る権利」を奪う秘密保護法の強行成立、消費税増税、社会保障解体、TPP強行、原発推進など、安倍自公政権は、あらゆる分野で暴走を続けています。共産党議員団は、安倍政権の暴走にストップをかける国民的運動の先頭に立つとともに、門川市長に対し「市民のくらしを守る立場から国に対し物を言うべき」と迫ってきました。しかし、市長は国いいなりに、消費税増税や社会保障解体も推進の立場です。市長与党も昨年11月市会に56団体から出された「増税中止」の請願を不採択にしました。

秘密保護法は廃止すべき



4月からの消費税増税中止を



### ムダな大型公共事業をストップさせる

共産党議員団は、試運転開始後もトラブルが続いた焼却灰溶融施設について、「技術的に未完成の施設であり、ムダづかいの典型だ」と批判。市民のみなさんとともに「稼働中止」を求めてきましたが、昨年8月に住友重工との「工事契約解除」に追い込みました。

### 高速道路未着工3路線

共産党議員団は、ムダと環境破壊の市内高速道路建設に当初から反対してきました。残る未着工3路線（堀川線・西大路線・久世橋線）の総事業費は2900億円。計画の中で、「計画の中止を繰り返して求めてきましたが、2012年3月の市議会でも、市長は事実上、「廃止」を表明しました。



未着工3路線

### 市民サービス切り捨て、職員削減の「京プラン」は撤回を

4年間で250億円の福祉・教育予算を含む経常経費を削る「京（みやこ）プラン」実施計画は、国の構造改革路線をそのまま京都に持ち込むもので、くらしを守るためには、「京（みやこ）プラン」の撤回が必要です。

### 市バス・地下鉄運賃、水道料金の値上げ中止を

消費税増税にあわせた市バス・地下鉄運賃の値上げ、上下水道料金の値上げが提案されましたが、これに反対して議会で論戦をおこなったのは日本共産党だけでした。他党派・無所属の議員は、昨年10月からの水道料金値上げも含め、すべての値上げ提案に賛成しました。



### 「市民の宝物」

### 敬老乗車証を守れ

敬老乗車証について、京都市は、乗るた

### 台風18号被害への緊急対策と復旧支援に全力

市内にも大きな被害をもたらした昨年台風18号。共産党議員団として、200カ所をこす被害現場を調査し、緊急の対策と復旧支援などについて、京都市に3次の申し入れを行いました。

引き続き、すべての被災者の復旧支援と一日



台風18号の被害対策について京都市に申し入れ

びに一定のお金を払う「応益負担」の制度に変えようとしており、「敬老乗車証を守れ」の市民のたたかいは大きく広がっています。昨年9月に開催された「敬老乗車証を守るう！市民集会」には170人が参加。今年2月までに、市長に対して8388筆の要望署名が提出されました。



### 焼却灰溶融施設——契約解除

共産党議員団は、試運転開始後もトラブルが続いた焼却灰溶融施設について、「技術的に未完成の施設であり、ムダづかいの典型だ」と批判。市民のみなさんとともに「稼働中止」を求めてきましたが、昨年8月に住友重工との「工事契約解除」に追い込みました。

### みなさんと力をあわせ、切実な要求を次々に実現

市営住宅の風呂がまは京都市の責任で取り替えに  
 請願の紹介議員になったのは共産党だけ。毎年、市に要望してきました。

### 市バス均一運賃区間が嵯峨・嵐山地域に拡大

10年来の地域住民のねばり強い運動と市議会での論戦が実ったものです。

### 西賀茂北部の柵野に市バス路線が走ることに

西賀茂車庫までの市バス路線延長を求めてきた住民の悲願が実現したものです。

### JR太秦駅、阪急西院駅等でバリアフリー化が前進

2014年度はJR桃山駅、阪急嵐山・松尾大社・上桂駅で基本構想が策定されます。